アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ

No.161/2020 年(令和 2 年)6 月

「アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ」第161号をお届けします.

【1】 委員長，新任執行部メンバのご挨拶

AP研執行部は6月から新体制となりました．北尾幹事，金幹事補佐の2名が新たに執行部に加わりました．陳委員長，新執行部メンバからのご挨拶を紹介いたします.

陳委員長

アンテナ・伝播研究専門委員会委員長を仰せつかります，東北大学の陳です．委員長を拝命してから，早くも1年経ちました．この間は，多くの方々から多大の協力を頂きながら,「若手の育成」,「異分野の融合」及び「企業との連携」を強化する方向に進んでまいりました．昨年10月のAP研で実施した企業・学生交流イベントは，参加企業の方々に研究開発及び人材育成の現状を研究会に参加の学生たちに紹介していただき，優秀な人材を早期に発見する機会を与えることを主な目的として開催しました.企業と学生の双方から大変なご好評をいただいたため,今年9月のAP研に合わせて2回目の開催を行うことになりました．先週にアンテナ伝搬基礎講座をオンラインで開催しました．コロナの期間中により多くの学習の機会を若手研究者や学生に与えるために，無料開催としました．その結果，300名を超える参加者が集まり，盛況で終えました．今後，海外名門大学の先生による電磁気学の集中講義を開いたり，AP分野の博士修了者の特別講演会を開催したりするなど，アンテナ・伝搬分野の若手の育成に全力したいと考えております.

社会は急にソーシャルディスタンスの時代に突入しました．人と人との交流を一番大事にしている学会にとっては，学会のあり方の模索が喫緊の課題となりました．コロナ禍で大打撃を受けているエンタメ業界では，最近目を引く記事がありました．サザンオールスターズの無観客配信ライブは，約18万人がチケットを購入，50万人が視聴，昨年のツアー動員数に匹敵する最大規模となったそうです．このことは，私たち大学人，学会人に対し，学会活性化のためのヒントと自信を与えてくれたのではないかと思います．禍を転じて福と為す．ワイヤレスコミュニケーションの専門家集団であるAP研は，コロナ禍をチャンスに転換する力を持っているはずです．コロナ時代及びアフターコロナ時代においても，皆様の献身的なご努力と知恵により，AP研がさらなる活性化し，発展していくことを確信しております.

北尾幹事

この度，幹事を拝命しましたNTTドコモの北尾と申します．これまで，AP研の運営には，2019年度の1年間,論文委員会の幹事として関わらせて頂き,とても貴重な経験をさせて頂きました.AP研の幹事業は，より多岐にわたると思われますので，皆様のご期待にそえるか不安ではありますが，陳委員長，黒川副委員長，有馬幹事をはじめとしまして，皆様のご指導のもと，微力ながら貢献できればと考えています．昨今のコロナ渦で，これまでの様な対面会議がままならなくなり，なかなか難しい状況ではありますが，オンラインを利用した会議形態を模索するチャンスだと思いますので,あまり失敗を恐れずに,新たな手法にチャレンジしたいと思います.どうぞ，よろしくお願い致します.

金幹事補佐

この度，産総研飴谷様の後任として幹事補佐を拝命いたしました．学生時代からA・P研関連テーマを中心に研究活動をやってきていますが,長年ほかの研究会で執行部を勤めてきました.今度A・P研にもどり幹事補座として貢献できることに嬉しく思っております．思わぬ長期化しているコロナ禍のなかで研究会の在り方やコロナ終息後に起こる社会的変化も見据えた研究会の進め方などを考えるべき,今年度の執行部には普段とは異なる重要な課題が多いと思います.私は，まず，研究会活動をより効果的に可視化し，A・P研をオン/オフラインで一層盛り上げる

方法を工夫していきたいと考えています．微力ではありますが，A・P研の発展に力を尽くしたいと思いますので，応援をよろしくお願いいたします．末筆ながらこの6月で退任された旧A・P研執行部の皆様に感謝申し上げます．

【2】 6月研究会報告

6月の研究会は，6月18日にオンラインで開催されました．オンラインで開催する初めての研究会となりました．午前中に開催された新体制での専門委員会もオンラインで参加する初めての専門委員会となりました．

研究会では，3件の研究発表の後に，AP研表彰式，菊間顧問（名工大）の特別講演が行われました．オンライン懇親会も初めて開催されました．コロナウイルスの世界的な蔓延により３月から５月までの研究会が実施できなかったことから，久々の研究会実施となり，非常に多くの方々にオンラインで参加いただきました．菊間顧問の特別講演「PN相関法と圧縮センシングを併用したマルチパス波のToF推定」は，資料を各自のパソコン上で聴講できたことから，理解がより深まったと考えております．

【3】 今後の開催案内

AP研のWebページでは，今年度の研究会開催計画が掲載されています．当面の間，すべての研究会はオンラインでの実施になります．1種研は，7月15～17日，8月21日に開催，2種研のAMT研究会は8月24日開催されます．企業の方々はオンラインでの勤務，大学では，オンラインでの授業が実施されていることが多いと思われます．オンラインでの参加は，出張の手間が省かれますが，参加されている方々との交流ができないことがさみしい状況ですが，研究会後のオンライン懇親会への参加も検討いただければ，これまでとは違った形での交流も深まるのではないかと期待しております．多くの皆様のご参加を期待しております．

2種研であるAMT海外開催であるIJAWT2019が7月29～30日インドネシアバンドン，MJWRT2019が8月1～2日マレーシアクアラルンプールで開催されます．2研究会に参加されますと，インドネシアからマレーシアまでの陸路での移動も体験できる(？)とのことです.9月10～13日には，ソサイエティ大会が大阪大学で開催されます．AP関連は100件を超える発表があると思いますので，発表される方だけでなく，多くの聴講者が参加されることを期待しております．

【4】 副委員長の戯言

2020年は，２月に対面での研究会を静岡大学で実施したのを最後に，研究会が中止となっておりました．4月伊勢神宮内での開催，5月沖縄での開催，5月ベトナムでの海外２種研開催等，皆様楽しみにされていたのではないかと考えておりますが，今年１月以降の新型コロナウイルスの世界的な流行の影響で中止となってしまいました．オンラインでの研究会を６月から開催できることとなったことは，次世代の研究会運営方法を検討する良い機会になっていると考えて，皆様の協力で今後も研究会を開催できればと考えております．昨年度までにAP研（飴谷幹事補佐)，MIKAで取り組まれていたリモート配信の取り組みが，研究会のオンライン開催に生かされていると感じております．

私事ですが，３月末以降，飛行機等の公共交通機関に乗車しない日が続いています．早く通常に戻って，皆様と対面でお会いできる日を楽しみにしております．つくば市在住で自家用車での移動のため不自由はありませんが，飛行機や新幹線にも乗りたいですね．

〈問い合わせ先〉

アンテナ･伝播研究専門委員会副委員長　黒川 悟（AIST）
E-mail:ap_ac-chair@mail.ieice.org (AP研執行部のメールアドレス)
AP-NET:AP研の最新情報を毎月メールにてお届けします!! 登録はAP研HPにて
AP研HP:http://www.ieice.org/cs/ap/jpn/